

新型コロナウイルス感染症に伴う 学びの保障について

- 1 新型コロナウイルス感染症への対応
- 2 ポストコロナを見据えて①(自学自習の力の育成)
- 3 きめ細やかな個別支援のために
 - (ア) 臨時休業中の学習内容の定着状況を把握
 - (イ) 学習指導員等の配置
- 4 ポストコロナを見据えて②(GIGAスクール構想の推進)

長野市教育委員会

1 学校における新型コロナウイルス感染症への対応

2

臨時休業期間における学校の対応

2020 3 March

月 Mon	火 Tue	水 Wed	木 Thu	金 Fri	土 Sat	日 Sun
24 春分の日	25	26	27	28	29	1
準備登校日						
2	3	4	5	6	7	8
主に小学校の卒業式		主に中学校の卒業式		13	14	15
16	17	18	19	20 春分の日	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31				4	5

春季休業

校庭や体育館の開放についての通知を发出

2020 4 April

月 Mon	火 Tue	水 Wed	木 Thu	金 Fri	土 Sat	日 Sun
30	31	1	2	3	4	5
6					11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29 昭和の日	30	1	2	3 憲法記念日

集団をつくらない個別の相談 (4/13~5/8)

2020 5 May

月 Mon	火 Tue	水 Wed	木 Thu	金 Fri	土 Sat	日 Sun
27	28	29 昭和の日	30	1	2	3 憲法記念日
4 みどりの日	5 こどもの日	6 振替休日	7	8		
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

教育相談日

分散登校①

分散登校②

分散登校③

【分散登校①】

(週に1回の登校) 5分の1の児童生徒数

【分散登校②】

(週に2回の登校) 5分の1の児童生徒数

【分散登校③】

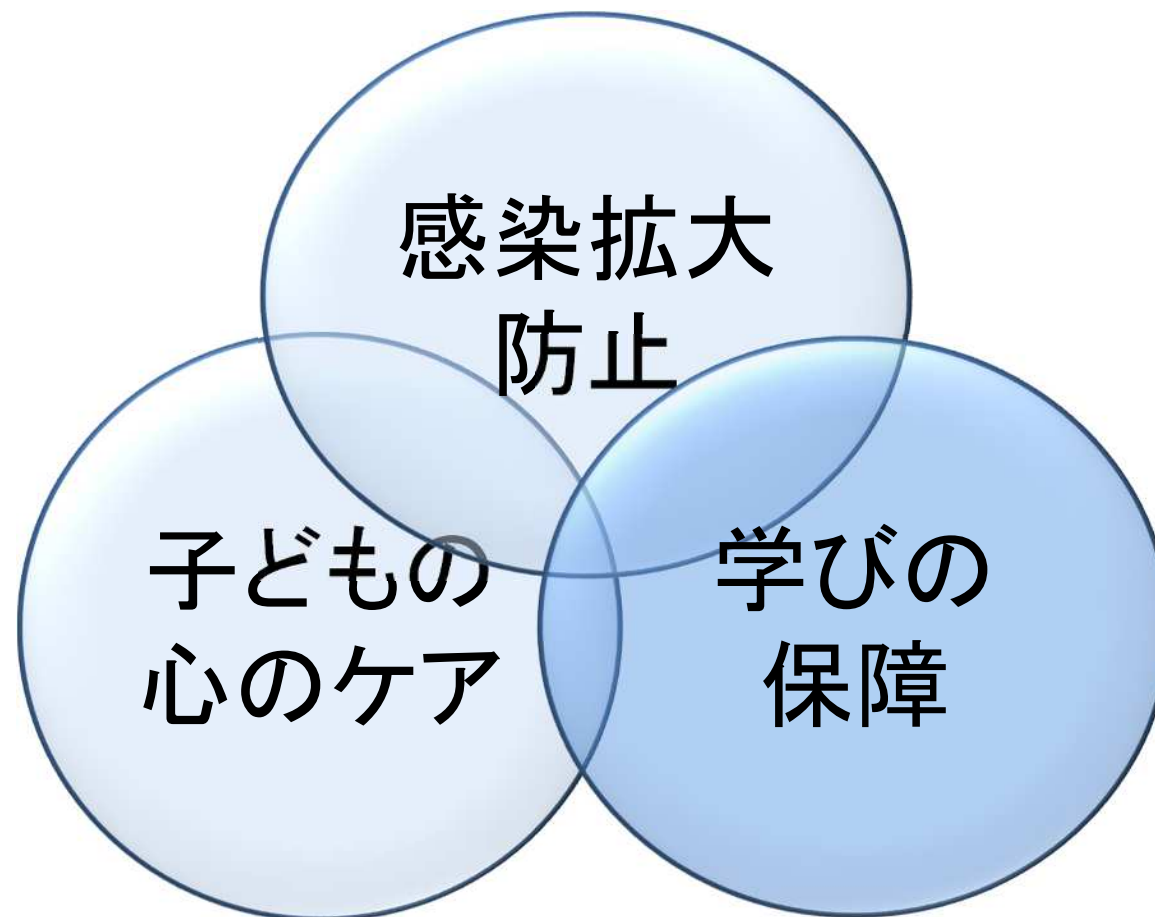
小1・6、中3が重点的に登校、昼食の提供開始
その他の学年は、週に2回、2分の1の児童生徒数

6月1日(月)から通常登校開始

1 学校における新型コロナウイルス感染症への対応

3

大切にしてきた3つの柱と つながりの重視

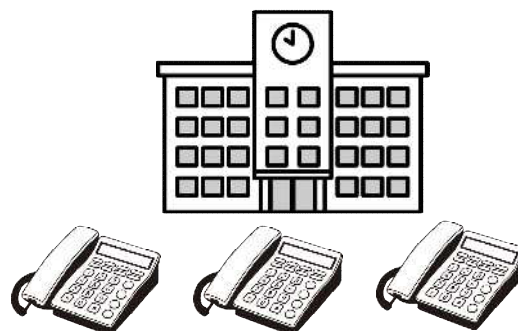


子どもと先生とのつながり

家庭訪問による
子どもの見守り



固定電話増設による
相談体制の強化



Microsoft Forms
を利用した相談

お子様の生活の様子について

本日のお子様の様子についてお知らせください。

電話による相談をご希望の場合、相談内容を記入してください。

回答を入力してください

保護者アンケートの一部

子どものやる気が出ず、勉強よりもユーチューブやゲームが楽しくて困っています。
(保護者からの相談内容(例))

教師と子どもの人間関係づくりのため、家庭訪問を実施

学習プリントを配り、規則正しい生活が送れるようアドバイス

日常的な子どもの学習相談等への対応のため、大規模校(20校)に固定電話を増設

(例) 吉田小学校
5本の臨時電話を職員室に設置(計7本)し、時間をかけて丁寧に相談に乗れるようにした。

日々の健康チェックと併せて、保護者の相談にも対応
必要に応じて電話等による相談も実施

**この難局を乗り越え、
みんなで未来の社会を創りあげるために**

児童生徒一人一人に自学自習の力を育む

臨時休業中の取り組み例(小学校)

6

休み中のせいかつと学しゅう

作成例



家庭で規則正しい生活を送ることができるように時間割を作成

保護者の皆様へ

- ・この「休み中のせいかつと学しゅう」は、お子さんの家庭での学習の様子を学校職員が把握し、必要な学習支援を行ったり、今後の学習支援の方策を検討したりするために作成いたしました。また、臨時休業中も学校の日課どおりに過ごすことができるように作成いたしました。
- ・お子さんへは「おもしろかったところはどこかな」「がんばったページはどこかな」など、問いかけながら、一日の様子を親子一緒に振り返ってください。
- ・「〇〇がうれしい」「〇〇ががんばったね」と、お子さんのがんばりやよさを見つけていただき、お子さんにお話してください。
- ・4月27日(月)に、取り組んだものをクリアファイル(封筒など)に入れて、学校に持たせてください。
- ・生活面や学習面についてご心配、お困りの点がございましたら、学校職員までご連絡ください。

(〇〇小学校 連絡先 〇〇〇-〇〇〇〇)

月よう日から水よう日まで	あさ ・どくしょ ・うんどう ・お手つだい など (8:40~8:50)	1じかん目 (8:55~9:40)	2じかん目 (9:45~10:30)	休みじかん ・休めい ・うんどう など (10:30~10:50)	3じかん目 (10:55~11:40)	4じかん目 (11:45~12:30)	おひる ・休めい ・うんどう など (12:30~1:40)	5じかん目 (1:40~2:25)	・あそび ・お手つだい ・きょうけい など (2:25~)	どんな一日だったかな?
例 4月20日 (月)	やること 【どくしょ】 本名 「ともだちや」	こくご (NHKの番組) 「おはなしのくに」 ・かんそうをかく 「ことばドリル」	さんずう (NHKの番組) 「さんずう大ファン」 ・プリント学しゅう (ふくしゅう)	やること 【うんどう】 なわとび () うがい () 手あらい	こくご「書がいろいろ」20ページ~21ページ せいかつ「書がし」 ・書をかんじるものを見つけて、カードに書こう (本で見つけてもいいよ)	できた50しよう! ・うがい () うがい () 手あらい () はみがき	できた50しよう! ・うがい () うがい () 手あらい () はみがき	ずこ 「にぎにぎねんし」 12ページ~13ページ ・ねんしのひもでいろいろなかたちをつくらう ・しゃしんをとってもらおう	やること 【お手つだい】 そうじ	【保護者記入欄】
4月21日 (火)	やること 【どくしょ】 「ともだちや」 「な一日だったかな」を記入する際、子どもがイラストを書いたり、〇で囲んだりする。			() 手あらい						子どもの様子ながら保護者が記入する
4月22日 (水)	やること 【 】			やること 【 】 () うがい () 手あらい		できた50しよう! ・うがい () うがい () 手あらい () はみがき			やること 【 】	【保護者記入欄】

NHKの番組を活用

各教科や運動、お手伝いなどをバランスよく配分

いろをぬりしましょう ☺☺☺...すごくがんばった!!! ☺☺...よくがんばった!! ☺...がんばった!

臨時休業中の取り組み例(中学校)

7

【数学】教科書を使った自学・自習ノートの作り方

やること

問題を決める

解決のヒントを探す

解決する

まとめる

まとめたことを活用する

教 p19 いろいろな多項式の計算

自学・自習のポイント

①問題を定める
教科書を見て取り組む問題を見つけましょう。「どうなるかな?」や「例題」を問題にするとよいでしょう。式の計算では、「●」はどのように計算すればよいかを問題にしましょう。

②ヒントを探す
教科書を見ると解決のヒントがたくさんあります。「今まで使ってきたことが使えないか?」や「今までと似ているところ、違うところはないか?」という視点で教科書からヒントを探しましょう。

③解決する
ヒントに基づいて実際に計算してみます。別のやり方がないかを考えることも大切です。

④まとめる
「どのようにすればよいか」の答えを自分なりの言葉でまとめます。考えたことを自由にまとめましょう。

⑤活用する
練習問題に挑戦します。答え合わせをしたりミスを直したりしましょう。

それだけではなく、数字を変えたり、かっこの中の項を増やしてみたりしながら、自分で新たな問題をつくることにも挑戦しましょう。

困ったことや分からないことをメモしておけば、後日、先生に質問することが出来ます。

計算問題を例に、やることの順番を示した【授業と同様の流れ】

1年生のときに

$$5(2a+3) = 5 \times 2a + 5 \times 3 = 10a + 15$$

$$(6y+2) \div 2 = 6y \div 2 + 2 \div 2 = 3y + 1$$
と計算した。

分配法則を使えば1年生のときと同じように計算できそう。

やることを詳しく説明した

例) 数×多項式 や 多項式÷数 の計算は、分配法則を使ってかっこをはずせばよい。

例) かつこの前の数をそれぞれにかけたり、かつこの後ろの数でそれぞれわったりすればできる。

7(5x+4y) = 7×5x+7×4y = 35x+28y

-4(2a-3b) = -4×2a+4×3b = -8a+12b

【自分で問題をつくってみた!】

$$5(2a+3b-4c) = 5 \times 2a + 5 \times 3b - 5 \times 4c = 10a + 15b - 20c$$
増えてもやり方は同じだった!

【先生に質問すること】
問1の(3)(4)のように分数があるとよく分かりません。どうやって計算すればよいですか?

教科書をじっくり観察

2 いろいろな多項式の計算

一次式のいろいろな計算を考えましょう。

かつこがある式を、分配法則

$$m(a+b) = ma+mb$$
を使って簡単にすることを考えましょう。

今まで使ってきた計算法則が書かれています。ヒントになりそうです。

① 5(2a+3) = 5×2a+5×3 = 10a+15

② (4x+8)× $\frac{1}{4}$ = 4x× $\frac{1}{4}$ +8× $\frac{1}{4}$ = x+2

③ (6y+2)÷2 = $\frac{6y}{2} + \frac{2}{2}$ = 3y+1

習った内容もヒントになります。

例1 数×多項式

$$5(2a+3b) = 5 \times 2a + 5 \times 3b = 10a + 15b$$

例2 多項式÷数

$$(9x-6y) \div 3 = \frac{9x}{3} - \frac{6y}{3} = 3x - 2y$$

例3 次計算をせよ。
(1) 7(5x+4y) (2) -4(2a-3b)
(3) (12x-10y)× $\frac{1}{4}$ (4) (14a-7b)×(- $\frac{1}{7}$)
(5) (-8x+10y)÷2 (6) (5a-15b)÷(-5)

活用の場面では、教科書の「問い」に取り組みましょう。自分が持っている問題集の問題を使ったりするのもよいでしょう。

例3は、次回の自学・自習の「問題」にしましょう。問題は、「どのように計算すればよいだろうか?」がよさそうです。

・今回の問題と似ているところ、違うところはどこかな?
・つかえそうな考え方は何か?
・新たな問題を自分でつくるとしたら、どこを変えようかな?
などと考えながら、自学・自習をすすめてみましょう。

ここにもヒントがありました。

(a+b)÷m = $\frac{a}{m} + \frac{b}{m}$

学校再開後の各校の取組

自学自習の資質・能力
を育成するために

8

【事例1】



「自学自習の時間」に
自分で決めた学習を進
める子ども

日課表に「自学自
習の時間」を
位置付けた

鍋屋田小学校
の実践を紹介

【事例2】



家庭で調べたことについて
話し合う生徒たち

「パッケージ授業」
を日課に位置付
けた

櫻ヶ岡中学校
の実践を紹介

【事例3】



自分にあったプリントを選ん
でいる子ども

発達段階に応じて
自学自習の力を育
成しようとしている

大豆島小学校
の実践を紹介

【事例4】



家庭で学習した内容を、発
音しながら確かめる子ども
たち

授業と家庭学習を
効果的に組み合わ
せた

緑ヶ丘小学校
の実践を紹介

【事例1】 日課表に「自学自習の時間」を位置付けた鍋屋田小学校

9

区分	内容	時間割
学活		8:20～8:30
1校時	授業	8:35～9:10
2校時	授業	9:20～9:55
休み時間(1・2・5年) 質問タイム・読書(3・4・6年)		9:55～10:15
3校時	授業	10:15～10:50
休み時間(1・2・5年) 質問タイム・読書(3・4・6年)		10:50～11:10
4校時	授業	11:10～11:45
5校時	授業	11:55～12:30
	給食	12:30～13:25
6校時	授業	13:30～14:05
清掃		14:10～14:25
なべっ子学習タイム		14:30～15:00
帰りの会		15:05～15:20
下校		15:30

自学自習の資質・能力を
育成するために



「自学自習の時間」に自分で決めた
学習を進める子ども

- ・30分間の自学自習の時間を設定
- ・校長・教頭・専科教員・学習指導員等
すべての教員が子どもをサポート

【事例1】「なべっ子学習タイム」の様子(鍋屋田小学校)

10

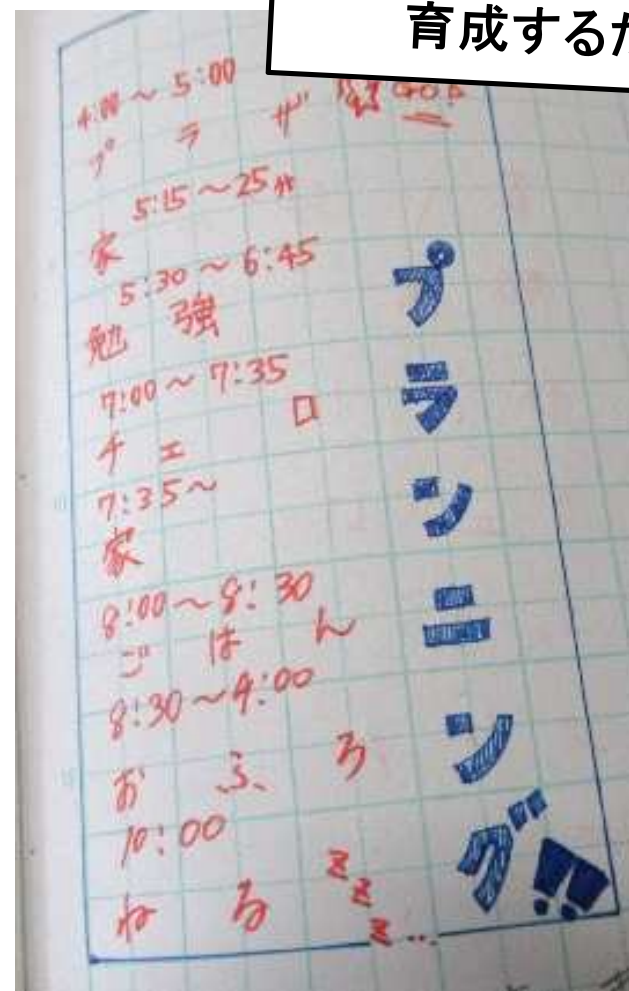
自学自習の資質・能力を
育成するために

先生、ここが分からないので
教えてください！



3名の学習指導員も個別支援

自分で考えてわからないときは、
先生に進んで質問できるようになりました。
(子どもの感想)



学校が終わってからの計画

学校が終わってからの計画を、毎日プラン
ニングしています。
勉強を後回しにせず、決めた通りやれる
ようになりました。(子どもの感想)

【事例2】「パッケージ授業」を日課に位置付けた櫻ヶ岡中学校

11

50分授業のうち、30分は「みんなで学ぶ学習」を行い、20分は「個別の学習」に取り組む「パッケージ授業」を日課に位置付け、学校全体で取り組んでいる。

自学自習の資質・能力を育成するために

①家庭での学習に「予習」を位置付け



日課表の一部

学活		8:10～8:20
1校時	授業30分、自学自習20分	8:30～9:20
2校時	授業30分、自学自習20分	9:30～10:20
3校時	授業30分、自学自習20分	10:30～11:20
4校時	授業30分、自学自習20分	11:30～12:20
給食		12:20～13:20

②30分の授業では主に「みんなで学ぶ学習」を位置付け



③20分の自学自習では主に「個別の学習」を位置付け



「予習して分からなかったことが、授業で解決できるのが楽しい」中3生

【事例3】 発達段階を考慮した大豆島小学校

12

自学自習の資質・能力を
育成するために

学年	段階	めざす姿
1年 ----- 2年	学習習慣 形成期	<ul style="list-style-type: none"> ○家庭学習を毎日行い、<u>答え合わせを自分でやって提出</u>できる。 ○土日には、先生から出されたいくつかの楽しい課題の中から選んで挑戦できる。
3年 ----- 4年	自律学習 形成期	<ul style="list-style-type: none"> ○<u>示された課題の中から自分で選択</u>して毎日行い、答え合わせをやって提出する。 ○自分の興味・関心ある内容について取り組む
5年 ----- 6年	探究学習 形成期	<ul style="list-style-type: none"> ○<u>自分で課題を決めて取り組む</u>。 ○自分で<u>学習の計画を立てる</u>。 ○自分で<u>学習を振り返る</u>。

全教職員で共有し、発達段階に応じた支援を行っている

「豆やかタイム」の様子(大豆島小学校)

日課表に30分間の自学自習の時間を位置付け

自学自習の資質・能力を
育成するために

13



【2年生】
課題の中から選んで挑戦



【4年生】
苦手なところを選んで学習



【5年生】
学習計画を先生に相談



【6年生】
友だちの自学ノートから学ぶ
子ども

【事例4】 授業と家庭学習を効果的に組み合わせた 緑ヶ丘小学校

自学自習の資質・能力を
育成するために

14

(例) 小学校5年生 英語の単元のまとめ(約1か月分の学習内容)

1 授業の流れ

1	① 授業	○【Lesson Goal】を決める。	<div>学習を終えた子どもの感想</div> <p>家で自主練習したりして、「あ！分かった」と思うことが多くなって、とても楽しい時間でした。友だちと話し合ったらもっと上達して、最後は発表もできました。</p> <p>※他にも、「自分の力が伸びた」と振り返る子ども多数</p>
2	① 自学自習	○好きな教科のたずねねと仮	
3	② 授業	○たずねねをたずね合う。	
4	② 自学自習	○壁の上で問題の言い方に慣れ親しむ。(P44) ○「Let's chant」までの音声を聞き、ワークシートに記入。表現に慣れ親しむ。	<div>授業5時間で8時間分の学習効果！</div>
5	③ 授業	○時間割をたずね合う。	
6	③ 自学自習	○「Let's chant」をつくるために、アルファベットの読み書きに慣れ親しむ。(P48,49)	
7	④ 授業	○オリジナル時間割をつくる。	評価：読むこと
8	⑤ 授業	○オリジナル時間割を紹介する。	評価：発表

先生に自分から
質問しました。

自分で決めたプラン通り
できたことがうれしい。

「あ！分かった」と思うことが
これまでより多くなったかなあ。

疑問を授業で解決できる
のが楽しい！

自学自習の時間が 子どもたちの「学ぶ意欲」を育てた

これまでしなのきプランで大切にしてきた、木の根っことも言える
部分が大きく拡がりを見せている

① 学校行事の見直し

【小学校の主な例】

運動会を体育参観日とし、練習時間や発表時間を短縮

【中学校の主な例】

修学旅行2泊3日→1泊2日

子どもから先生へ、アイデアを
提案するといった主体的な動きも

② 授業日数の確保

夏季休業 7月31日(金)～8月17日(月)

【年度当初の計画より約13日間短縮し、18日間とした】

2020 7 July

月 Mon	火 Tue	水 Wed	木 Thu	金 Fri	土 Sat	日 Sun
29	30	1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23 海の日	24 スポーツの日	25	26
27	28	29	30	31	1	2

2020 8 August

月 Mon	火 Tue	水 Wed	木 Thu	金 Fri	土 Sat	日 Sun
27	28	29	30	31	1	2
3	4	5	6	7	8	9
10 山の日	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31	1	2	3	4	5	6

サマースクールを開き、
個別の学習支援を実施
した学校(23校)

3 きめ細やかな個別支援のために

17

(ア)臨時休業中の学習内容の定着状況

(例)標準学力検査(NRT) 理科の結果から

学 年	令和2年3月の学習内容	定着状況(全国比)	
		昨年度	今年度
小4	物の形と重さ	★(98)	★(98)
小5	水の温度による変化	☆(103)	★(97)
小6	振り子の動きとその決まり	☆(104)	☆(102)
中1	電気の働きと利用	☆(103)	—(100)
中2	地層	★(95)	☆(119)

有意差あり①

有意差あり②

【小5】有意差あり①

実験や観察を行い、友達と意見を
交わし合う機会が減少したことが原
因か。再度、体験的な活動を行い、
補充補完をする必要がある。

【中2】有意差あり②

「地層」は特に知識の定着が重要
な領域であり、自学自習の学習
スタイルが効果的。

実験や観察を行い、友だちと意見を交わし合う機会が減少したことにより、定着状況がやや低下したのではないか。

体験的な活動は学校だからこそできる学びであり、協働学習を取り入れた授業が今後一層大切になってくるのではないか

多様な子どもたちの資質・能力を育成するための、
個別最適な学びと、社会とつながる協働的な学びの実現



令和2年8月20日 中教審答申の作成に向けた骨子(案)をもとに作成

(イ)学習指導員等の配置

令和2年3月以降の臨時休業により不足する授業時間を補うために必要な学習指導員等を追加配置するもの

業務内容

少人数学習、TT指導、放課後学習、自学自習の時間の個別学習サポート 等

長野市立小・中学校における学習指導員等の配置状況

(令和2年9月25日現在)

計 313名

【参考】

国	学習指導員等を大規模追加配置【61,200人】令和2年度第2次補正予算額 232億円			
	想定人材	退職教員、大学生、学習塾講師、NPO等教育関係者等 幅広い人材	補助割合	<div> 国 1/3 県 2/3 </div> <div> 実質国費 10/10 負担 </div>

4 ポストコロナを見据えて②(GIGAスクール構想の推進)

20

児童生徒または教職員から感染者が発生した場合

・ 学校閉鎖【3日間程度】

保健所による濃厚接触者の調査及び施設消毒



・ 保健所から特定された学級は学級閉鎖【2週間程度】

オンライン授業の実施に向けた準備

① 家庭のインターネット環境の確認を電話等にて実施

※オンライン授業へ参加を希望しない家庭には、引き続き家庭訪問やForms、電話相談などを実施

② 必要な家庭にパソコンやルータを順次設置、SIMカードの配付、接続確認

※指導主事やパソコン119番も全面的に支援



・ オンライン授業の実施

※朝8:30からのオンライン授業ができるように、保護者に接続確認を依頼

学校再開までの個別支援の流れ

学校再開



パソコン教室での操作方法研修



「Zoomを使って朝の学活」実施研修



算数での模擬授業



先生

生徒役

カメラ付き端末

不登校児童生徒支援のための遠隔教育

オンライン授業を実施するにあたって

小学校の日課表（例）

これまで育成してきた
自学自習の資質・能力
を発揮する時間を位置付け




時間	内容
朝の学活 8:30～8:45	一日の日課の確認 (オンライン授業)
1 時間目 8:45～9:00	国語の学習 (オンライン授業)
9:00～10:30	自学自習①
2 時間目 10:30～10:45	算数の学習 (オンライン授業)
10:45～12:00	自学自習②

※午後も同様に 2 時間のオンライン授業を実施

自学自習とオンライン授業の効果的な組み合わせにより、
学級閉鎖であっても子どもは学び続けていくことができる

<参考>1人1台端末の整備計画(予定)

23

	令和 2 年度												令和 3 年度												令和 4 年度	令和 5 年度
	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3						
中 3	<div>パソコン室の パソコンを活用</div> 					1 人 1 台端末												 <div>中学校 ChromeBook</div>			→					
中 2						中 1、中 2 で 3,400 台を運用			1 人 1 台端末																	
中 1						1 人 1 台端末																				
小 6						1 人 1 台端末												 <div>小学校 iPad</div>			→					
小 5						1 人 1 台端末																				
小 4						1 人 1 台端末																				
小 3						小 1 ～ 小 3 で 3,400 台を運用			1 人 1 台端末																	
小 2						1 人 1 台端末																				
小 1						1 人 1 台端末																				











アプリケーション「ミライシード」の導入（予定）

24

ミライシード

- ・1つのID/PASSで利用可能
- ・学習履歴の一元管理

東京都23区のうち13区、
指定都市20のうち半数が採用

個別最適学習	授業支援	協働学習
 <p>ドリルパーク</p> <p>小・中学校 家庭学習</p>  	 <p>オクリンク</p> <p>小・中学校 協働学習</p>  	 <p>ムーブノート</p> <p>遠隔授業 地域 他校との共有</p>   
<p>端末持ち帰りで 学校・家庭両方の学びを支援</p>	<p>簡単操作で目的別に 低学年でも利用可能</p>	<p>市内の事例共有 他地域との関わり</p>

自学自習の力をさらに発展させることが可能

多様な子どもたちの資質・能力を育成するための、
個別最適な学びと、社会とつながる協働的な学びの実現



令和2年8月20日 中教審答申の作成に向けた骨子（案）をもとに作成